

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年3月22日

例会場:パレスホテル大宮

例会日:月曜日12:30~13:30

会長 藤嶋 剛史

幹事 横溝 一樹

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

第2812例会 2024/03/11

発行日 2024/03/18

会長挨拶



会長 藤嶋 剛史

本日は3月11日、東日本大震災から13年が経ちました。

いま例会の様態を撮影していただいておりますが、私は当時さいたま商工会議所(YEG)の広報委員長として、同じように例会や事業の撮影をして

いました。その一環として仙台で行われたYEGの全国大会に参加し、会場で参加者が楽しく盛り上がる様子をカメラにおさめましたが、そのわずか数週間後にその会場が遺体安置所になったと聞いたときは大きな衝撃を受けました。その後、福島から避難してきた人たちのためにYEGとJCがさいたまスーパーアリーナで炊き出しを行ったのですが、それが縁で青年団体同士が有事の際に力を合わせ、地域のために動けるようにと協力体制が生まれたという出来事がありました。

今年は能登半島地震から始まりましたが、100年と数カ月前には関東大震災があり、それは米山梅吉氏が東京RCを作って3年後の事でした。その時、壊滅状態になった東京へ世界各地のロータリアンから莫大な支援が届き、それがきっかけで東京RCは奉仕の精神に目覚めたと言われています。そのように大災害など大変なことが起こり、それを乗り越えたときに生まれるものがあると思います。そしてその原動力となるのは、関東大震災でも世界中から寄せられた、他者を思いやる「利他の心」ではないでしょうか。

本日は米山月間にちなんだ卓話ですが、米山奨学事業も日本のロータリーが戦争を乗り越えて、生まれた平和のための事業です。卓話者のキムソンヒョンさんは私が地区米山部門委員長の際に学生リーダーをお願いした方ですが、それにはあるきっかけがありました。米山奨学生になってすぐにクモ膜下出血でなくなった中国の男性学生がいたのですが、当時はコロナのため母国からお母さんも来れないような状況で、そして彼には奥さんがいたのですが、日本に一人取り残され、悲しみにくれてどうしたらよ

いかもわからないような状態でした。米山部門では少しでも支援できるようカンパを集めたのですが、その時キムさんは5千円も出してくれて、「私たちのいただいているお金は、こういう時にも役立てたいのです」と言ったそうです。私はこの事を人づてに聞いたのですが、彼女の「利他の心」に胸を打たれ、リーダーをお願いしようと心に決めました。その後キムさんには米山部門セミナーで学生代表スピーチをしていただいたのですが、皆が絶賛する素晴らしい内容で、いつかクラブの皆さんにも聞いてもらいたいとずっと思っていました。今日はこの例会で、ぜひ米山記念奨学事業の「意義」を感じていただき、それがクラブの米山の活性化につながり、そしてロータリーの目的である、国際理解・親善・平和の推進の一助となれば幸いです。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

佐藤 真義会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

■国際ロータリー第2770地区 米山学友
キム ソンヒョン様
(ご紹介: 副会長 染谷 義一)



幹事報告



幹事 横溝 一樹

1. ご案内しております4月18日(木)開催「能登半島地震チャリティゴルフコンペ」のお申し込みは3月28日まで受け付けております。ご希望の方は事務局までお願いいたします。
2. 3月16日能登半島地震支援

募金のご案内を配布いたしました。「おおみや鉄道の日」というイベントも駅で行われているようなので、皆さまお立ち寄りください。

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com

HP: http://rc-omiya-west.com/



3. 3月9日土曜日に行われた、大宮南ロータリークラブ主催の「ヤングケアラー支援市民集会」に参加してまいりました。自治会や民生委員など地域の方々や、ロータリアン、ローターアクターが参加し、ケアラー支援団体の代表、またヤングケアラーとして学生時代を過ごした方のお話をお聞きし、意見を交わしました。未だ社会的な認知度も低く、また実情を把握することも難しい問題だと感じましたが、具体的な支援に繋げる必要性を考える機会となる集会でした。

退会のご挨拶

■株式会社フジタ 関東支店 三浦 隆一 会員

事業所の転任という事で本日をもって大宮西ロータリークラブを退会とさせていただきます。2019年4月高橋秀樹様の紹介によりこの大宮西ロータリークラブに入会させていただきました。5年間、皆様に大変お世話になりました。途中、コロナというパンデミックもあり、ロータリー活動に制限もありましたが、本当に楽しい5年間でした。しかしながら委員会活動におきましては、皆さまのお力にあまりなれず大変ご迷惑をおかけいたしました。そんな中で一番の思い出は、大宮駅や鐘塚公園でポリオ撲滅運動やピンクリボン活動をしているときに「自分頑張っているなあ」と思ったことです。今後もロータリー奉仕の精神を転任先、私生活におきましても忘れずに心に刻んで頑張っていこうと思います。後任には「茂川」というものがお世話になります。立派なロータリアンとなるよう皆様のご指導をお願いいたします。最後になりますが、大宮西ロータリー様、会員の皆様様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしましてご挨拶と代えさせていただきます。



委員長報告、派遣役員報告

■地区 地域社会奉仕委員会 委員 新井 清太

3/16(土) 10:00~12:00、大宮駅西口ペDESTロリアンデッキにおいて「能登半島地震支援 大宮駅 街頭募金」を行います。本日、案内をお配りしていますので、参加できる方は直接申し込みを。駅では「おおみや鉄道の日」関連イベントも開催されており、埼玉栄高等学校吹奏楽部は演奏もいたします。ほかの生徒は募金に参加します。

■米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香

3月は米山月間です。本日は学友のキムさんに卓話をお願いしています。例会終了後、書の前で記念撮影をしたいと思います。皆様お集まりください。



出席報告

■出席委員会 委員長

新城 盛辛



スマイル報告

■副S A A

松本 有祐



卓話

国際ロータリー第2770地区 米山学友
キム ソンヒョン様
「私の夢」



成長過程

日本での生活
○日本語が分からない
○言葉が通じないから生活が大変
○先生の言うことが分からない

3カ月で日本語が上達
○みんなと沢山お喋りしたい！
○日本の生活が自分の一部になった
⇒日本は第二の故郷

突然の別れ
○いきなり韓国へ帰国することに
○すぐ日本に戻ってやると決意
⇒実際は15年後に来日

韓国の生活にも馴染めない
○今度は韓国語が分からない
○学校にも馴染めない
○友達ができない
⇒インターネットゲームと日本のアニメが心の拠り所

高校でインターアクトに入部
○最初は友達が欲しくて入った
○次第に、「人のためになることとは何か」について考える
○進路に関しては、進学より就職
⇒国会で働くことに

国会で学んだこと

様々な人が集まった職場
○エリートから芸能人まで
○政治家に会う機会も多かった
⇒一番参考になったのは国会議員

夢は永遠の命
「偉人になれば、私が死んでも誰かが私を憶えてくれる」

人は肩書ではなく「中身」
○国会議員を観察した結果、肩書より中身が大事であることを悟った

専門家になりたい
○人を助けるには力を付けるべき
⇒何の専門家になるか？





私が夢を持つまで

政治を動かすのは経済である

大学進路

- 母国の大学に進むか、海外に留学するか
- 先進国で学びたい、日本語を活かした仕事がしたい
- ⇒日本留学を決心

家族の反対

- 安定した職を捨てる？
- 学費・生活費はどうする？
- ⇒行けば何とかなる

生活難

- 奨学金無し、アルバイト収入無し
- 一日 500 円生活
- ⇒すぐに働けるところへ



大変な肉体労働

- 仕事と学業を並行
- 肉体が疲労する
- ⇒留学を後悔

米山記念奨学生になった

- 辛い生活から解放された
- 「経済的余裕」、「時間の余裕」、「心の余裕」を持つようになった
- ⇒自分の夢と向き合える



夢のきっかけ

私の夢

- 一、会計と IT を兼ね備えた専門家になる
- 二、お金を沢山稼いで、寄付やボランティアを行う
- 三、日本と韓国の架け橋になる

会計に興味を持ったきっかけ

- 0 → 1 が得意な父 (アイデアマン)
- 1 → 100 は苦手 (書類仕事)
- 世界にはアイデアマンが多い
- ⇒私がサポーターになる



道は一つじゃない

- 会計は言語、IT と相性が良い
- 様々な分野を掛け合わせる
- ⇒助言を必要とする人に分かりやすく伝える

寄付とボランティア

- 地区大会で吉岡先生について知った
- 自分にできることをやって、人の助けになることが職業奉仕
- ⇒誰かのためになることをやる

日本と韓国の架け橋

- 最初は、自分にはできないと思った
- お世話クラブで勇気をもらった
- ⇒自分の経験談を本にする



3つの夢

一、会計と IT を兼ね備えた専門家になる

- 在学中に、会計士以外の選択肢があることを学んだ
- 基本情報技術者、システム監査技術者、米国会計士などの資格を取得
- 自分が学んだ会計と、働き先の IT という分野を兼ね



備えた専門家になる

二、寄付やボランティアを行う

- 将来は、自分もロータリアンになりたい
- 特に、勉学に励みたいが、経済的に余裕が無い学生を支援したい



三、日本と韓国の架け橋になる

- 自分の日本留学経験を本にする
- 民間の交流を拡大
- 来日したい人に勇気を与えたい
- ⇒日本に関する誤解を解くきっかけを作る

感謝の気持ち

正の連鎖を繋げていく

- 私も誰かの助けが必要な存在
- 他人も一人では生きていけない
- 私はロータリーに支えられた
- ⇒私も誰かを支えたい



2年間ありがとうございました。

- 夢と励ましをもらった
- 夢という種を芽生えさせる時間が来た
- 「奉仕の精神」を持って生きていく

